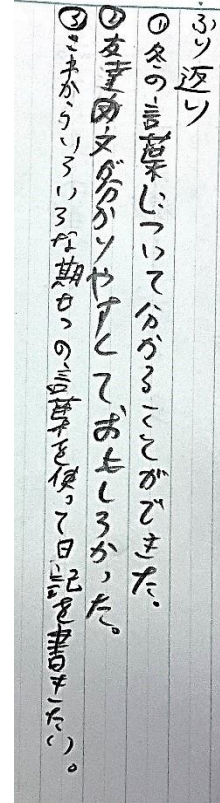
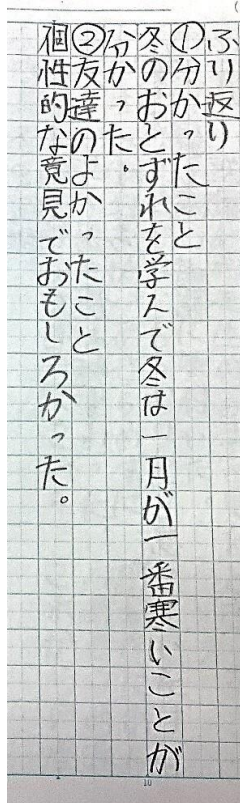
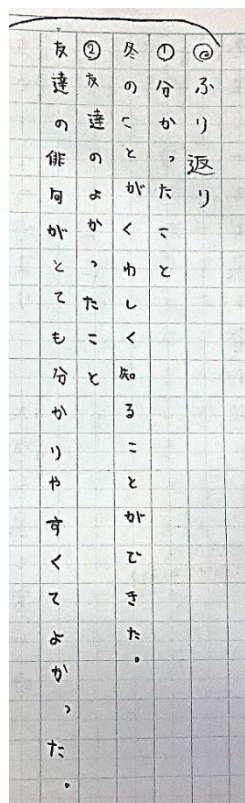


学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南九州市立川辺小学校	児童生徒数	446人
-----	------------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等



複数の観点から自分で選び振り返っています。①は「分かったこと」②は「友達のよかったこと」としています。

②の「友達のよかったこと」については、発表だけではなく、意見交流時に共感したこと等も記述しています。

③「今後活用したいこと」または「もっと調べたいこと」は、主体的な学習態度につながるものとなります。

取組についての概要（成果）

第6学年 国語科「季節の言葉4 冬のおとずれ」における実践

「振り返り」については、時間の都合上、口頭で行うことの方が多のですが、「分かったこと」、「友達のよかったこと」、「今後活用したいこと」（または「もっと調べたいこと」）の3観点で行いました。まとめをした後に振り返りを行うことで、学習内容の定着を図ることができたと考えます。

また、口頭よりも記述の方が、後から見返すことができるという点では重要です。時間が十分にとれるわけではありませんが、今後はできるだけ記述させるようにしたいです。

また、「今後活用したいこと」を積極的に書ける児童は少ないですが、主体的な学習態度の育成という点で、今後取り組むべき内容だと感じています。

